



平成28年2月8日

各 位

会 社 名 三重交通グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 岡本 直之
(コード：3232、東証第一部、名証第一部)
問 合 せ 先 企画室部長 北村 亨
(TEL. 059-213-0351)

「三重交通グループ中期経営計画（2016-2018）」の策定について

当社は、このたび「三重交通グループ中期経営計画（2016-2018）」を策定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

「三重交通グループ中期経営計画（2016-2018）」の概要

1. 期間 2016年度から2018年度までの3カ年
2. 基本方針 変化の激しい経営環境に適切に順応し、持続的な成長・発展を実現する
 - 安全・安心・安定・快適なサービスの提供
 - 成長分野への戦略的投資
 - 経営の安定性確保

3. 経営指標目標値

	2016年3月期（予想）		2019年3月期（計画）
売上高	102,000 百万円		117,000 百万円
営業利益	4,100 百万円		6,300 百万円
経常利益	3,900 百万円		5,700 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,800 百万円		3,500 百万円
自己資本比率	22.6%		25.7%
ROE（自己資本純利益率）	8.3%		8.6%
ROA（総資産営業利益率）	2.8%		3.8%
D/E レシオ	2.1 倍		1.9 倍
有利子負債 /EBITDA 倍率	8.3 倍		6.5 倍

4. 投資計画

計画3カ年で330億円程度の投資を実施

5. セグメント別戦略

【運輸セグメント】

- ・売上・利益の安定化
- ・インバウンド需要への対応強化
- ・イベント関連輸送の確実な取り込み
- ・安全輸送の徹底

【不動産セグメント】

- ・賃貸事業の強化
- ・メガソーラー事業の推進
- ・分譲事業の推進

【流通セグメント】

- ・店舗開発の強化
- ・新たな商材の展開
- ・インバウンド需要への対応強化
- ・カーライフサイクル事業の推進

【レジャー・サービスセグメント】

- ・宿泊特化型ホテル「三交イン」の店舗網の拡充
- ・インバウンド需要への対応強化
- ・御在所ロープウェイ改修計画の検討
- ・シニア事業の拡大

以 上

(添付資料) 三重交通グループ中期経営計画 (2016-2018)

うれしいを、つないでゆく。

三重交通グループ

うれしいを、つないでゆく。

三重交通グループ

証券コード：3232

三重交通グループ 中期経営計画(2016-2018)

三重交通グループホールディングス株式会社

2016年2月8日



1. 中期経営計画 計画概要

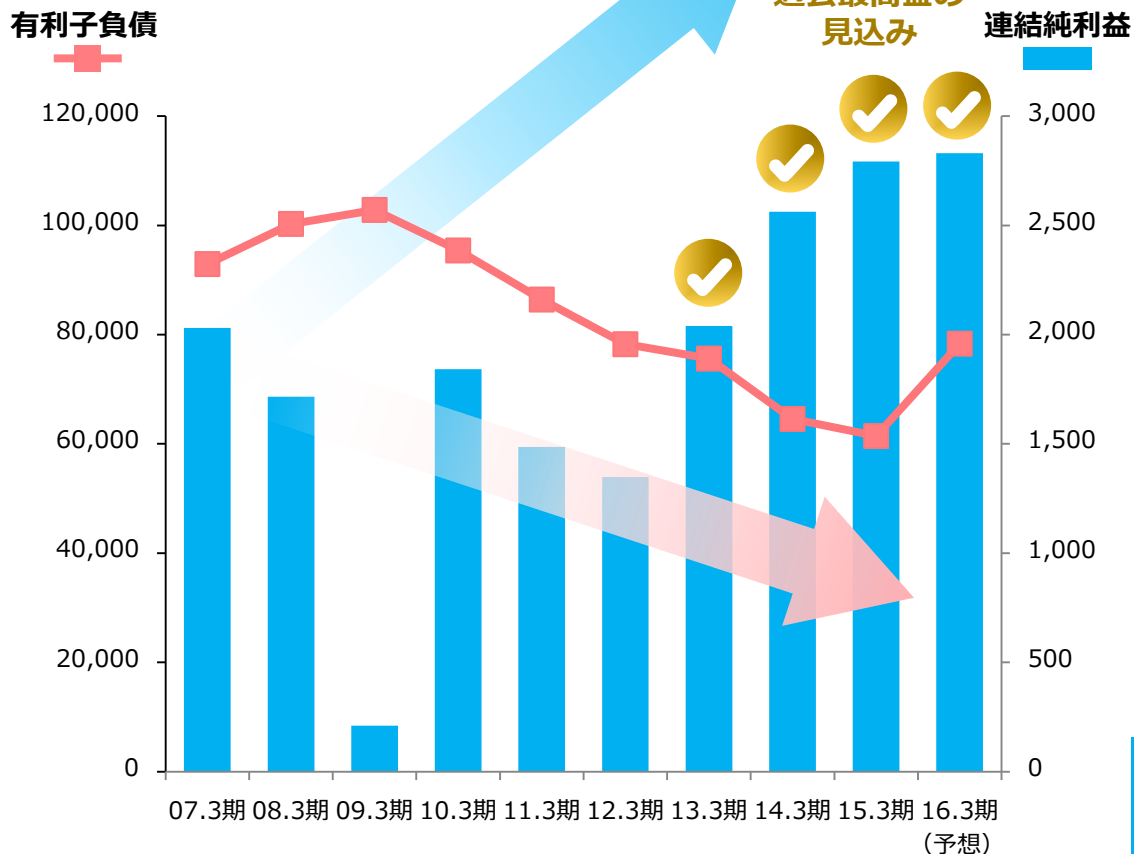
2. 中期経営計画 セグメント別戦略

3. 中期経営計画 戦略目標

中期経営計画策定の背景

連結純利益・有利子負債の推移

単位：百万円



2006年10月 持株会社制に移行し、
経営環境の変化に柔軟に対応できる
体制を構築

利益水準の伸長とともに財務体質が改善

2015年3月 東証1部に上場

積極投資による攻めの経営へ

持株会社制に移行

東証1部に上場

事業環境

三重交通グループ

- 伊勢志摩サミットの開催による需要増加期待 (2016年5月)
- インバウンド需要の拡大
- 新名神高速道開通による動線の変化

レジャー・サービス

運輸

- 少子高齢化による需要構成の変化
- 外国人旅行者の増加
- 安全への意識の高まり

- ネット販売の拡大
- ガソリン需要の変化
- 顧客ニーズの多様化

流通

不動産

- 名古屋地区の活況
- 景気変動の影響を大きく受けやすい
- 低金利の継続

グループ中期経営計画（2016-2018）基本方針

三重交通グループ

**変化の激しい経営環境に適切に順応し、
持続的な成長・発展を実現する**

安全・安心・安定・快適なサービスの提供

- ・ 当社グループの信用力と知名度の源泉

成長分野への戦略的投資

- ・ 不動産セグメント：賃貸事業の強化、環境エネルギー事業の推進
- ・ 流通セグメント：店舗開発の強化、新たな商材の展開
- ・ レジャー・サービスセグメント：宿泊特化型ホテル「三交イン」の店舗網の拡充

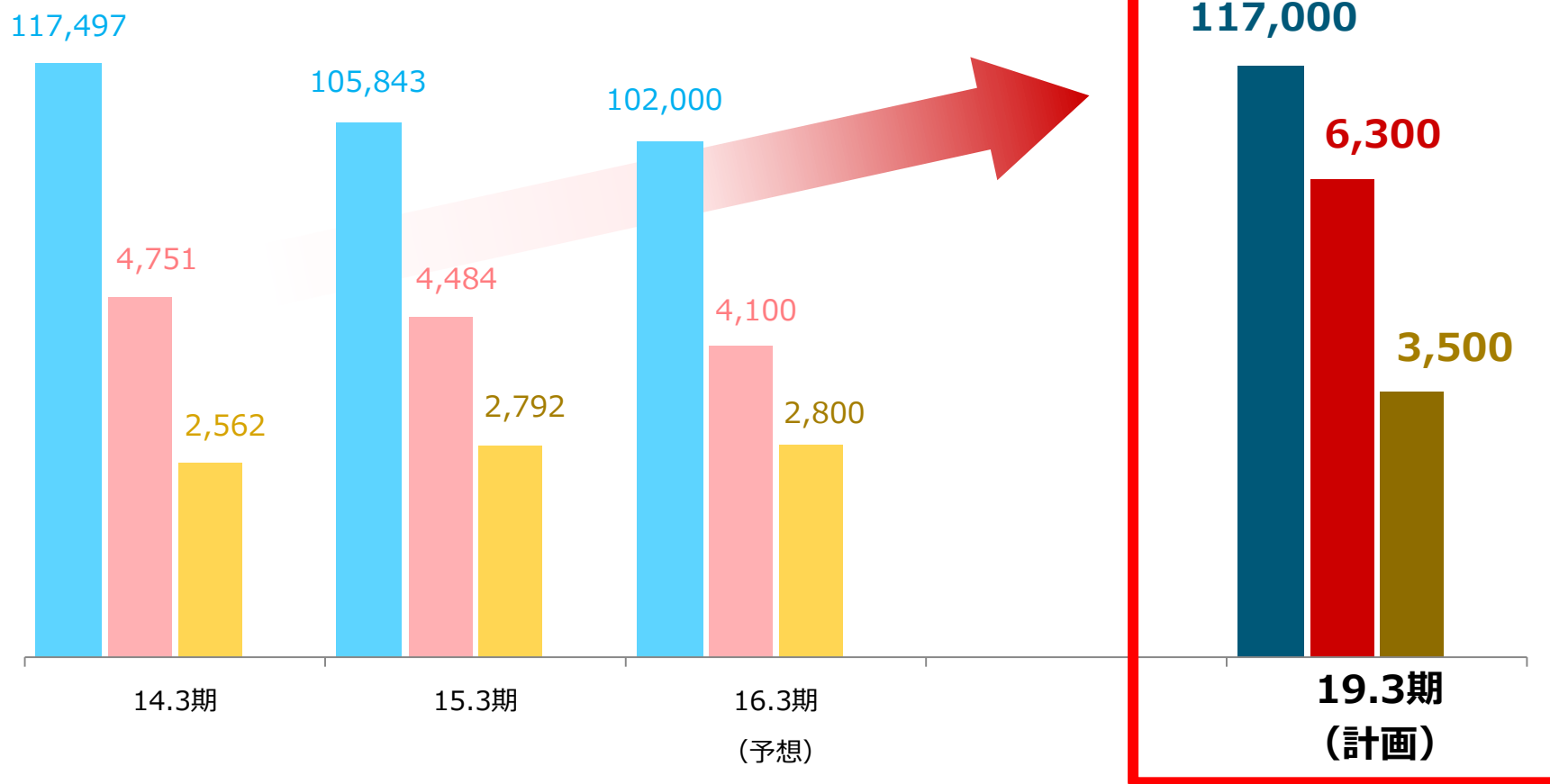
経営の安定性確保

- ・ 各事業の高収益化（営業利益率の改善）
- ・ グループ内資金の有効活用

数値計画

売上高・営業利益・純利益の推移

単位：百万円

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 純利益


運輸セグメント

売上・利益の安定化

- 信頼・信用力を活かしコミュニティバス、スクールバスなどの運行受託事業を強化
- 多様化するニーズに対応し、新型車両を投入

インバウンド需要への対応強化

- 海外旅行会社との連携によるセールス強化
- 企画乗車券の商品開発と販売
- 新規路線の開設（津～伊勢神宮線など）
- Wi-Fi環境整備、ホームページ・案内表示の多言語化
- ICカードの導入（2016年春より）

イベント関係輸送の確実な取り込み

- 2017年3月期 伊勢志摩サミット
- 2018年3月期 全国菓子大博覧会
- 2019年3月期 高校総体開催

安全輸送の徹底

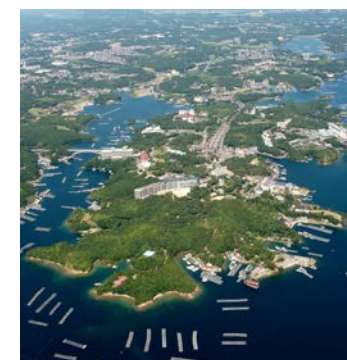
- 運転士、運行管理者の指導教育の継続的徹底
- 衝突警報装置の車両への取り付けを推進



高速船ターミナルと伊勢神宮を結ぶ新路線



ICカード「emica」



伊勢志摩サミット
(2016年5月26・27日 開催予定)

不動産セグメント

賃貸事業の強化

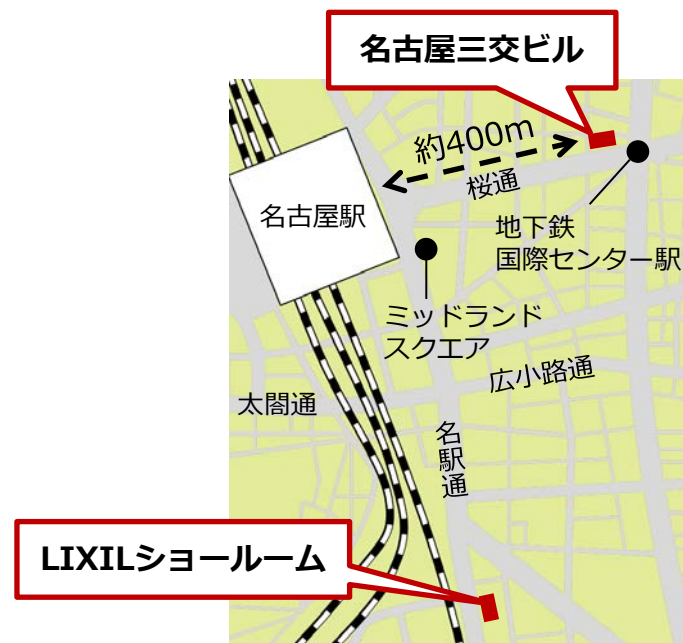
- 名古屋地域の事業拡充
 - 名古屋三交ビルの再開発を検討
 - LIXILショールームのオープン（2016年4月）
- 既存ビル・商業施設のリニューアル・再開発

メガソーラー事業の推進

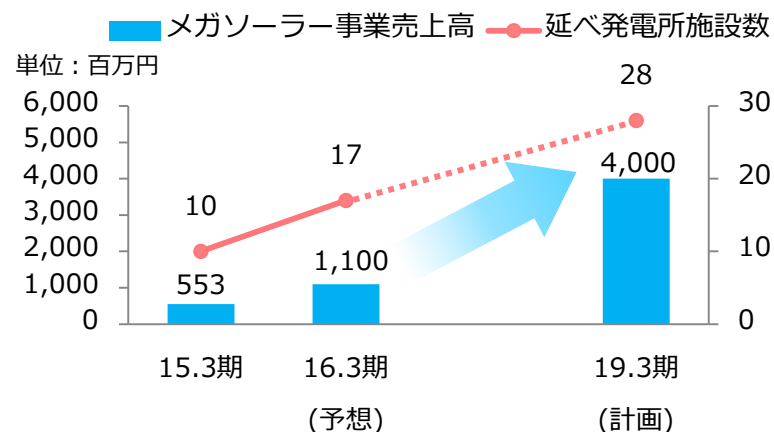
- 社有地等を活用
- 2019年3月期計画
 - 売上高 40億円
 - 発電規模 96.5MW
 - 施設数 28基

分譲事業の推進

- 採算性が見込める用地の厳選取得
- リノベーション（住宅再生）事業の拡大



メガソーラー事業計画



流通セグメント

うれしいを、つないでゆく。

三重交通グループ

店舗開発の強化

- 東急ハンズ、飲食FC事業の店舗数を拡大

新たな商材の展開

- 流行やニーズを先取りした商材の取扱い

インバウンド需要への対応強化

- ニーズに合わせた品揃え
- 売場案内表示の多言語化

カーライフサイクル事業の推進

- 新車販売から保険契約、整備、部品販売、中古車販売までサービスを連携し、顧客を取り込み市場シェアを拡大



飲食FC事業「大戸屋」
(2015年11月オープン)



ベルギーチョコレート
「BbyB.GINZA」
(2014年11月オープン)



売場案内表示の多言語化

レジャー・サービスセグメント

宿泊特化型ホテル「三交イン」の店舗網の拡充

- 2016年11月 「伊勢市駅前（仮称）」オープン（予定）
- 京阪神地区への出店計画の推進
- ゴールデンルート沿いのチェーン化第一段階の完成

インバウンド需要への対応強化

- ゴールデンルート上に位置する各施設への誘客を推進
- 鳥羽シーサイドホテル改装
 - 伊勢志摩サミット後に増加が予想される国内外観光客の
確実な取込み

御在所ロープウェイ改修計画の検討

- 新名神開通（2018年度）、菰野IC開設による京阪神、
中京圏客の取込み

シニア事業（2015年12月事業開始）の拡大

- サービス付き高齢者向け住宅など



三交イン「伊勢市駅前（仮称）」
（2016年11月オープン予定）



鳥羽シーサイドホテル



御在所ロープウェイ

投資計画

うれしいを、つないでゆく。

三重交通グループ

- 計画3カ年で330億円程度の投資を実施
- 成長戦略投資に傾斜配分

単位：百万円

	投資額内訳	主な投資内容
運輸	7,500	車両代替、新型車投入
不動産	21,000	メガソーラー
流通	2,000	FC店舗展開
レジャー・サービス	2,500	三交イン「伊勢市駅前（仮称）」 鳥羽シーサイドホテル改修
合計	33,000	



三重交通新型貸切バス
「ドリームⅡ」



松阪山室メガソーラー
発電所
(2015年12月)



三交イン「伊勢市駅前（仮称）」
(2016年11月オープン予定)



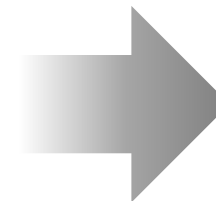
鳥羽シーサイドホテル

数値目標

単位：百万円

	2014.3期	2015.3期	2016.3期 (予想)
売上高	117,497	105,836	102,000
営業利益	4,751	4,484	4,100
経常利益	4,370	4,188	3,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,562	2,792	2,800

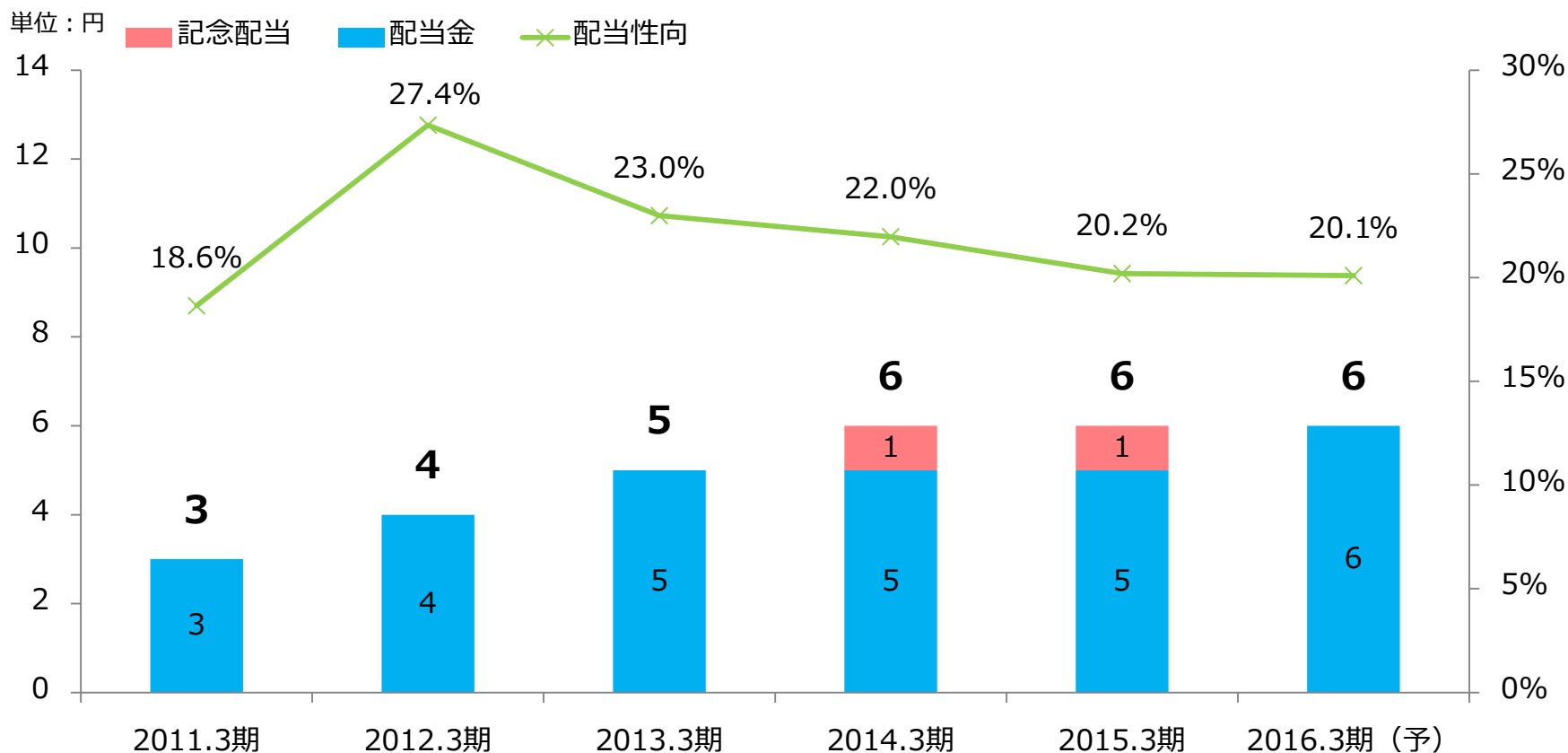
自己資本比率	20.0%	23.8%	22.6%
ROE（自己資本純利益率）	9.7%	9.4%	8.3%
ROA（総資産営業利益率）	3.4%	3.3%	2.8%
D/Eレシオ	2.4倍	1.9倍	2.1倍
有利子負債/EBITDA倍率	7.0倍	6.8倍	8.3倍



2019.3期 (計画)
117,000
6,300
5,700
3,500
25.7%
8.6%
3.8%
1.9倍
6.5倍

株主還元方針

長期にわたり安定した経営基盤の構築に努め、業績の推移、将来のための内部留保などを勘案しつつ、安定的な配当を重視



※2014.3期は三重交通(株)創立70周年の記念配当1円を実施

※2015.3期は東京証券取引所上場の記念配当1円を実施

参考資料

ホテル、ドライブイン、ロープウェイ、
旅行、自動車教習所、ゴルフ場

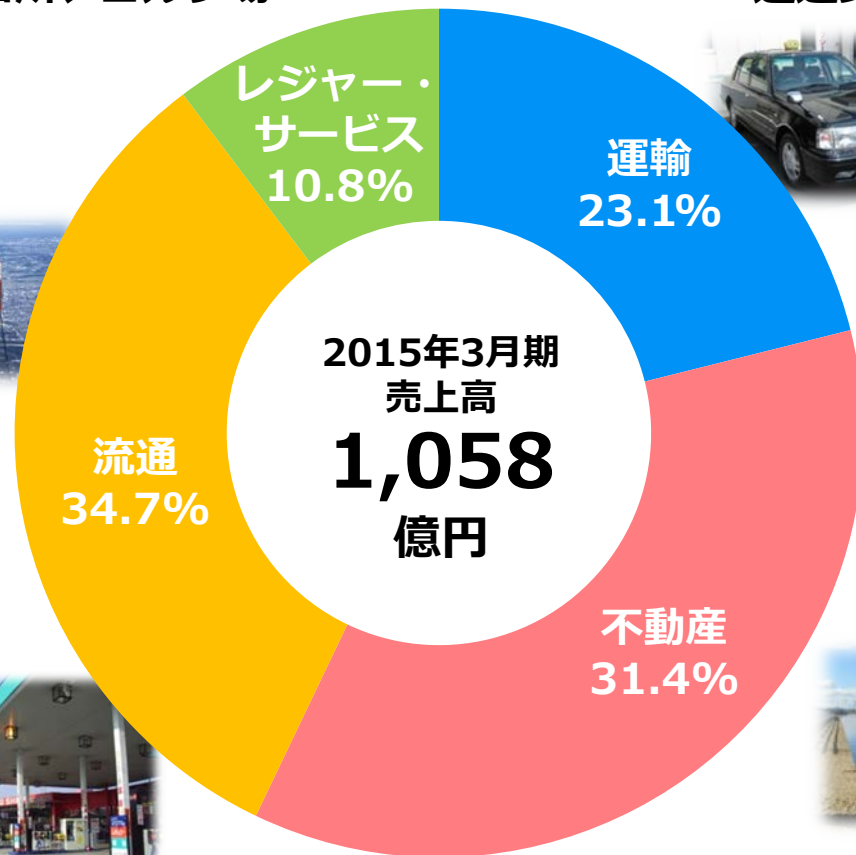


東急ハンズFC、自動車販売、
石油販売

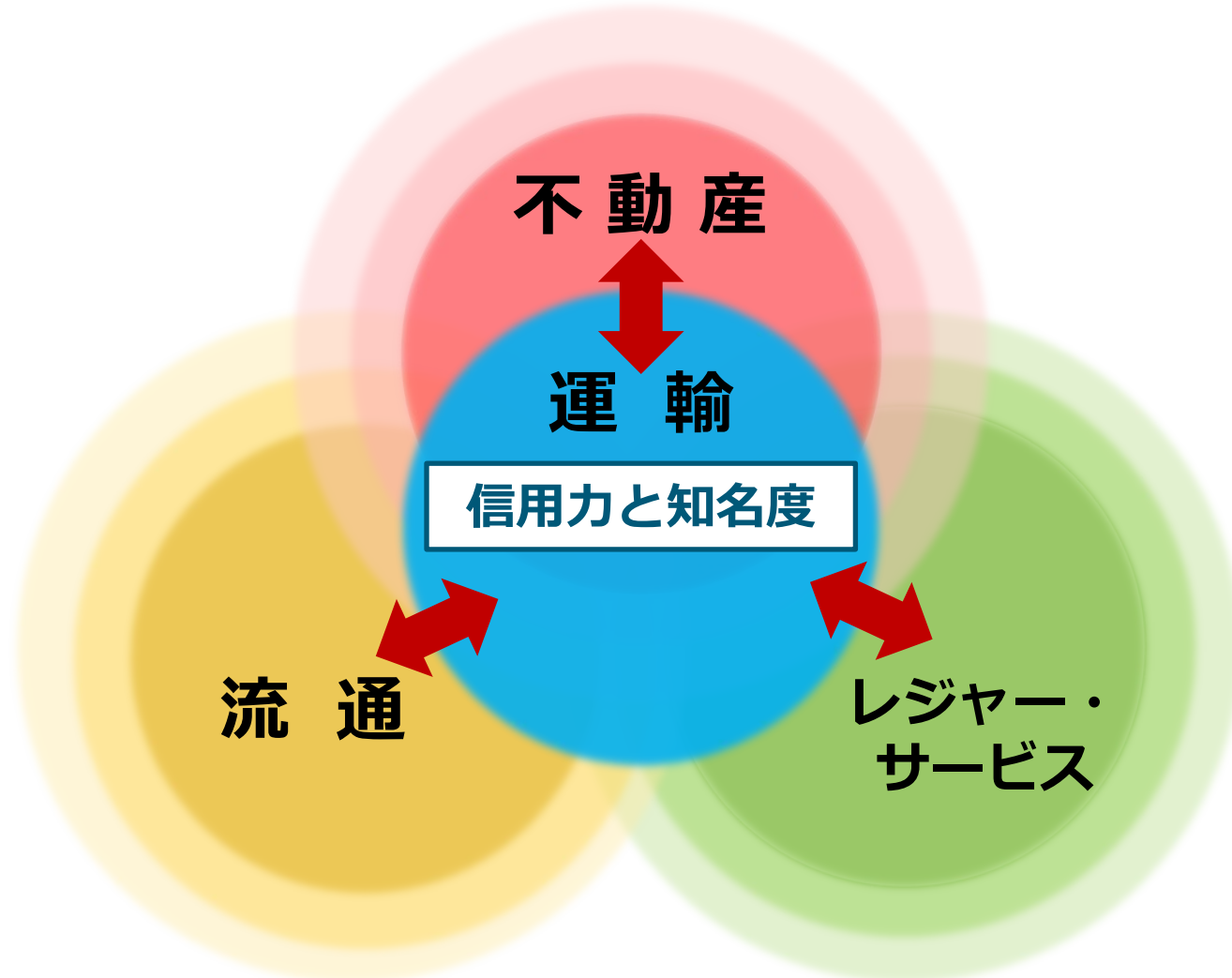
乗合バス、貸切バス、
運送受託、貨物、タクシー



分譲、賃貸、環境エネルギー、
仲介、建築



4セグメントの「シナジー効果」と「リスク分散効果」



グループ基本理念・経営指針

【グループ基本理念】

三重交通グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します

【グループ経営指針】

1. お客さまのよろこびの追求
“お客さまのよろこび”を追求し、新たな価値を提供します
2. 地域社会への貢献
価値ある事業を展開し、地域の発展に貢献します
3. 絶えざる自己革新
過去にとらわれず、常に未来に挑戦します
4. 誠実な企業活動
誠実な企業活動を行い、よき企業市民としての信頼を深めます
5. グループ総合力の発揮
互いに協力・連携し、グループの総合力を発揮します
6. いきいきとした企業風土
いきいきと働ける環境を築き上げ、社員の活力を高めます

お問い合わせ先

三重交通グループホールディングス 企画室

電話：059-213-0357

E-mail：kikaku@sanco.co.jp

本資料に掲載されている計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。